

特集



火を使って料理をすることもあります

「NPO法人越谷にプレーパークをつくる会」は、子どもたちがやりたい遊びを自由にできる禁止事項の少ない遊び場をつくるために、平成14年に任意団体として発足しました。

プレーパークは、初めて会った者どうしが仲良くなれる場所として、多くの親子に親しまれています。「今後は、日常的な遊び場として運営していきたいです。日常的に開催することができれば、いろいろな世代の人の交流の場にもなります。小学生から大人までが楽しめる居場所を作りたいです」。

「プレーパークでは、ほかの公園ではできない火や水を使った遊びをするため、地域の方の理解が必要です。活動当初は、水遊びや火遊びをする子どもを見た地域の方から、水の使い過ぎだ、火を使うのは危ない」という意見が寄せられました。そこで、プレーパークの冊子を発行し配布しながら、プレーパークについて説明していきました。今では、多くの方から理解をもらい、子どもたちは、自分で穴を掘って作った池で泥だらけになりながら遊んだり、そうめんを食べるために火をおこしたりと、毎回自由に遊んでいます。大人に内緒な方が楽しい遊びが生まれるんですよ。だからこそ、内緒で遊べる空間をつくってあげたいですね」。

プレーパーク NPO法人 越谷にプレーパークをつくる会



NPO法人越谷にプレーパークをつくる会代表 瀧野 彩子さん

〈開催日〉 広報こしがやお知らせ版、市ホームページをご覧ください
〈時間〉 午前10時～午後3時
〈会場〉 大袋原っぱ公園(西大袋土地区画整理事業地内)
〈費用〉 無料
〈問合せ〉 ☎090-7411-4693



みんなで一緒に作業をします



地面を掘って水遊びをします

参加者からボランティアへ



越小っ子キラリン教室 飯田 真優さん

Q. 小学生のころの思い出は？
A. 工作が好きでした。
Q. ボランティアになったきっかけは？
A. お姉さんたちと遊んでいたのが楽しかったので、自分も同じように年下の子もたちの面倒を見てあげたいと思い、ボランティアになりました。

「越小っ子キラリン教室では、宿題を終えてから遊ぼう」を約束事にしています。子どもたちはランドセルを置いてから、まずは宿題をやり、終わってからそれぞれの居場所を見つけて自由に遊んでいます」。

14年の間には、多くの子どもが放課後子ども教室を卒業していききました。「小学生のころ、この教室で過ごしていた子どもが、現在、ボランティアとして参加してくれています。地域で子どもの居場所を作っていくことは、地域の方の居場所を作ることにもつながるので、交流の輪を広げていきたいです」。

放課後子ども教室

越小っ子キラリン教室



越小っ子キラリン教室代表 会田 容子さん(後列左端)

放課後子ども教室は、毎年5月に年間の申し込みを受け付けています。参加を希望する方は来年度の受け付け期間に各教室へ直接お申し込みください。



特集

子どもたちの笑顔があふれる 居場所づくり



プレーパークってどんな場所？

「やりたい遊びを自分の責任で」という考えのなか、木登りや水遊びや泥んこ遊び、火遊びなど、子どもがやりたい遊びに挑戦できる冒険遊び場です。

プレーパークには、プレーリーダーと呼ばれる大人がいます。遊具の点検や場所の安全確保などを子どもの視点に立って行い、遊び場を支えています。子どもが遊びを通して、生きていくために必要な力を身につけて、成長していく場所となっています。

放課後子ども教室ってどんな場所？

放課後の教室や公共施設等を活用して、子どもが宿題やスポーツ、文化活動のほか、地域の方との交流活動を行う場所です。子どもが地域社会の中で心豊かな

子ども食堂ってどんな場所？

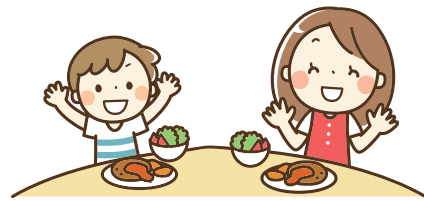
地域の方や市民活動団体などが子どもに対し、温かくて栄養のある食事や地域の方との交流を提供する場所です。子どもだけでなく大人も参加できるため、ひとり親家庭で育児を頑張っている保護者や、子育てについての相談相手がない保護者のほか、1人暮らしの高齢者も一緒に食事を楽しむことができます。子ども食堂もあります。

放課後を1人で過ごすお子さんや、家族と一緒に食事を取ることができないお子さんがいます。市内には、プレーパークや放課後子ども教室、こども食堂など、そんなお子さんが楽しく過ごせる場所があります。今号では、子どもの居場所づくりに取り組む団体を紹介します。

☎963-9308、こども食堂について：子育て支援課 ☎63-9165

特集

市内にある 子ども食堂一覧



せんげん台子ども食堂

〈日時〉 毎月第3火曜日、午後4時～7時
 〈場所〉 千間台記念会館(千間台西1-9-9)
 〈費用〉 子ども無料、保護者300円
 ☎ 草場 ☎978-5774



ふくろう子ども食堂

〈日時〉 土曜日(2週間置き)、正午～午後2時
 *今後の予定は9月28日(土)・10月19日(土)です
 〈場所〉 大袋地区センター
 〈対象〉 20食限定
 〈費用〉 小・中学生100円、保護者300円
 ☎ 藁田 ☎070-4286-7610



多世代交流施設まくりの家

〈日時〉 毎週月曜・水曜・金曜日(祝日を除く)、午後3時30分～7時
 〈場所〉 間久里住宅集会所(上間久里63-1)
 〈費用〉 小・中学生無料、大人1円～300円の寄付制(事前申し込みが必要です)
 ☎ NPO法人地域子ども包括支援センター ☎964-8000



越谷子ども食堂

〈日時〉 月曜～金曜日(祝日を除く)、午後5時～7時
 〈場所〉 放課後児童クラブ越谷中央教室(越ヶ谷2-9-6)
 〈費用〉 小・中学生無料、大人1円～300円の寄付制(事前申し込みが必要です)
 ☎ NPO法人地域子ども包括支援センター ☎964-8000



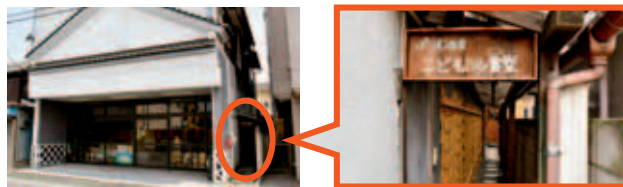
なんこしポケット

〈日時〉 不定期開催
 〈場所〉 南越谷地区センター
 〈費用〉 小・中学生無料、大人1円～300円の寄付制(事前申し込みが必要です)
 ☎ NPO法人地域子ども包括支援センター ☎964-8000



越ヶ谷子どもかふえ食堂

〈日時〉 毎週月曜日、午後5時～8時
 〈場所〉 ぼらむの家(越ヶ谷本町8-3)
 〈費用〉 大学生以下100円、大人300円
 ☎ 青山 ☎080-6785-4551



子育て食堂たんぽぽ

〈日時〉 第3土曜日(隔月)、午前11時～午後2時
 *今後の予定は12月1日(土)・令和2年(2020年)2月15日(土)です
 〈場所〉 埼玉県立大学(三野宮820)
 〈費用〉 小・中学生100円、大人300円
 ☎ 三宅 ☎2011113r@spu.ac.jp



子ども食堂 じゅげむ

〈日時〉 毎年2月・8月の2回、午前10時30分～午後2時
 〈場所〉 デイサービスセンター「こころ」(千間台西1-6-2)
 〈費用〉 小・中学生100円、大人300円
 ☎ 半場 ☎jugemu2017@yahoo.co.jp



すべて手作りのメニュー

「せんげん台子ども食堂」は、千間台地域に住む子どもたちが放課後に安心して過ごせる場所を作るために、平成28年に設立した団体です。毎月30人～40人の子どもと20人程度の大人が、せんげん台子ども食堂を訪れ、遊びや食事を共にしています。「子ども食堂の活動を始める前は主任児童委員の活動を行っていましたが、その際、学童に入らなかった子どもの保護者から暗くなるまで子どもが1人で留守番することになってしまっ

子ども食堂 せんげん台 子ども食堂



せんげん台子ども食堂代表
草場 澄江さん

〈日時〉 毎月第3火曜日、午後4時～7時
 〈会場〉 千間台記念会館(千間台西1-9-9)
 〈費用〉 子ども無料、保護者300円
 〈問合せ〉 ☎978-5774

てきてくれたことがあります。活動を始めてから3年6カ月の間には、せんげん台子ども食堂に来た人との多くの思い出があります。「毎回来ている3人の子どものお母さんがブルーベリーチーズケーキを焼いて持ってきてくれたことがあります」。

この日のメニューは、タコライス、ジャガイモとタマネギの煮物、コーンスープ、スイカ。「食材の多くは、市民農園などで野菜を作っている地域の方やグリーン・マルシェ、リサイクルプラザから提供してもらったものです。子ども食堂は、地域の方に支えられて成り立っています」。

現在、せんげん台子ども食堂では、ひとり親家庭を対象に無料で食品等を配付するフードパントリーという活動を始めました。「せんげん台子ども食堂が少しずつ地域の方に知ってもらえてきていると実感しています。今後は、いつ来ても誰かが出迎えてくれて、一緒に食事したり、勉強を教えたりできる場所を作っていきたいです」。

毎日の子育てだけで大変なはずなのに、皆さんで食べてとたくさん持ってきてくれたんです。子どもたちはおいしい笑顔で食べていて、持ってきてくれたお母さんも照れていました。ほかにも、以前来ていた子どもが高校生になり、これからはボランティアとして参加したいと言ってくれたこともあります」。



みんなで食事をします

子ども食堂で使用する食材はどこからくるの？

リサイクルプラザ



市では、食品ロス削減の一環として家庭で余っている食品を持ち寄るフードドライブを実施しています。

〈受付時間〉 火曜～日曜日(月曜日が祝日の場合、翌火曜日も休館)、午前9時～午後5時

〈回収品目〉 インスタント・レトルト食品、乾物、缶詰、調味料等

〈回収条件〉 未開封で包装や外装が破損していない、賞味期限の記載があり、期限が2カ月以上

☎ リサイクルプラザ(砂原355) ☎976-5371

グリーン・マルシェ



グリーン・マルシェでは、出荷登録している約200軒の農家の皆さんが野菜を持ち寄るフードドライブを実施しています。



市民農園・いきいき農園

市民農園やいきいき農園は、農業に対する理解を深めてもらうことを目的に、市が農地を借りて区画を市民に貸し出している農園です。

